

【時刻表】

新岡山港発 ▶ 土庄港着	土庄港発 ▶ 新岡山港着
6:20* ▶ 7:30	7:00 ▶ 8:10
8:40 ▶ 9:50	8:40 ▶ 9:50
10:10 ▶ 11:20	10:10 ▶ 11:20
11:40 ▶ 12:50	11:40 ▶ 12:50
14:00 ▶ 15:10	14:00 ▶ 15:10
15:40 ▶ 16:50	15:40 ▶ 16:50
17:00 ▶ 18:10	17:00 ▶ 18:10
18:30 ▶ 19:40	18:30 ▶ 19:40

*) 券売機のみで営業

【アクセス】



新岡山港のりば



土庄港のりば



岡山とオリーブの島・小豆島をむすぶ

国際両備フェリー ～岡山航路～

1日8便 約70分の船旅



岡山市 小豆島

新岡山港 ⇔ 土庄港

SHIN-OKAYAMA PORT TONOSHO PORT

国際両備フェリー株式会社

岡山航路部 〒702-8003
岡山県岡山市中区新築港9-1

JR 岡山駅とは
路線バスで接続

フェリーとセットになった
「かもめバスきっぷ」がお得!
バス時刻表はこちら



公式 HP



Instagram

☎お問合わせ (自動応答サービス) 050-3615-6352

小豆島へ、癒しの旅へ。

瀬戸内海で二番目に大きな島、香川県小豆島は、温暖な気候と豊かな自然に恵まれ、オリーブや醤油、佃煮、素麺など、様々な食文化が育まれてきました。日本三大渓谷美の一つ「寒霞渓」をはじめ、天使の散歩道として知られる「エンジェルロード」など、島ならではの絶景スポットを各地で楽しめます。美しい瀬戸内海の島々や自然を堪能しながら、ゆったりとした時間で癒される船旅×島旅を過ごしてみませんか？



道の駅 小豆島オリーブ公園

園内では約2000本のオリーブ畑が広がっており、フォトジェニックなスポットも多い。地中海を思わせる美しい景色の中、ギリシャ風車がシンボルとなっています。

エンジェルロード

1日2回、干潮時に砂の道が現れ、向かいの島へ歩いて渡ることができます。大切な人と手をつないで渡ると願いが叶うと言われる恋人の聖地としても知られています。事前に潮見表をご確認ください。



寒霞渓 (かんかけい)

日本三大渓谷美の一つに数えられ、山頂までのロープウェイで空中散歩をしながら200万年の歳月が創りだした日本屈指の渓谷美を楽しむことができます。

二十四の瞳映画村

映画『二十四の瞳』で使用されたロケセットを公開しています。大正から昭和初期の村の町並みが再現されており、ノスタルジックな気分を味わえます。教室にも、当時のものがそのまま残されています。



船舶紹介

総トン数:942トン／全長:65.56m／幅:14.70m
出力:2,800馬力／航海速度:13.0ノット／旅客定員:500名
車両積載:普通乗用車60台または大型バス10台／バリアフリーエレベーター



Go!Go!

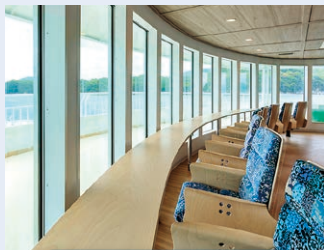
Olympia Dream Seto

おりんぴあどりーむせと

2019年5月就航。コンセプトは世界で初めての「海を走る遊園地」。優雅で上質なインテリアに360度プロムナードデッキ、3Fには貸切サロンがあり、さらにキッズスペースや実際に走るミニトレインもあって、大人も子どもも楽しめる仕掛けが満載のクルーズフェリーです。



(注) 当日の運航予定やミニトレイン営業は当社HPでご確認ください。



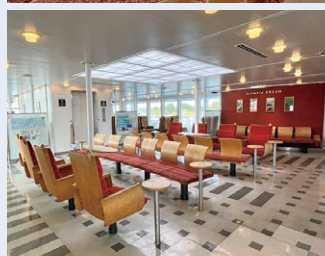
3F展望サロン
24名定員 貸切可能団体室

Olympia Dream おりんぴあどりーむ

木を使ったデザインで明るくモダンな船室に、デッキにはメリーゴーランドやブランコ、滑り台、ボルダリングなどを配置し、小豆島までの船旅を家族みんなで楽しみいただけます。



総トン数:967トン／全長:66.03m／幅:14.70m／出力:3,200馬力
航海速度:13.0ノット／旅客定員:500名
車両積載:普通乗用車55台または大型バス9台／バリアフリーエレベーター



中山千枚田 (なかやませんまいだ)

「日本の棚田百選」の一つで、急な斜面に約800枚の大小の田んぼが折り重なっています。どこか懐かしい風景に心が癒されます。

西之瀧 (にしのだき)

「小豆島八十八ヶ所」の霊場のひとつで、小豆島最古の山岳霊場です。真言宗の開祖・弘法大師(空海)が修業や祈念を行った場所だといわれています。



重岩 (かさねいわ)

小瀬石鎚神社の御神体として祀られている、落ちそうなのに落ちない不思議な巨石です。長い階段や岩場を登り、辿り着く頂上には瀬戸内海の絶景が広がります。

醤油の郷 (ひしおのさと)

醤油・佃煮工場が多く集まる地域で沿道には醤油の香りが漂います。今でも明治時代に建てられた一部の醤油蔵が使用されており、ノスタルジックな雰囲気が散策におすすめ。見学体験ができる場所もございます。

